

## 平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 株式会社モブキャスト 上場取引所 東  
 コード番号 3664 URL <http://mobcast.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藪 考樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐武 利治 (TEL) 03-5414-6830  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績 (平成28年1月1日～平成28年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	1,639	△7.3	△51	—	△86	—	△199	—
27年12月期第2四半期	1,768	△13.0	△158	—	△152	—	△127	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 △182百万円(—%) 27年12月期第2四半期 △96百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	△13.64	—
27年12月期第2四半期	△8.82	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	2,276	784	33.3
27年12月期	2,963	967	31.6

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 757百万円 27年12月期 935百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年12月期の連結業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

当社グループ(当社及び連結子会社)が属する業界は、事業環境の変化が激しく、かつ、新規タイトルについての不確実性が高いことから、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努めるものの、連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	14,621,808株	27年12月期	14,596,808株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	一株	27年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	14,617,687株	27年12月期2Q	14,438,095株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料は、TDnetで同日開示しております。また、当社は、平成28年8月5日（金）に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

モバイルインターネット市場は、スマートフォンの急激な普及期を超えインターネットが生活インフラとなり、当社グループが属するモバイルゲーム市場も成熟期を迎えつつあります。また、平成27年の日本におけるゲーム市場は約1兆4,760億円(約123億ドル;平成27年12月末レートを参照に1ドル=120円として換算)であり、平成26年から平成30年にかけて約1.2%拡大するものと見込まれており、その市場規模のうち約半分をモバイルゲームが占めるとされております(平成27年Newzoo社調べ)。

このような事業環境の下、当社グループは、前連結会計年度に引き続き、自社運営モバイルプラットフォーム「mobcast」の機能強化と、モバイルゲームの開発と運営及び海外事業の推進に取り組みました。自社開発のネイティブアプリゲームにつきましては、「18 キミト ツナガル パズル」の運営強化に取り組み、「おそ松さん」をはじめとする有名アニメIP(著作権等)、声優、Youtuberとのコラボレーションによる新規ユーザーの獲得及びゲーム内イベント実施による既存ユーザーの継続率向上施策等を実施いたしました。また、外部デベロッパー製コンテンツとしては、株式会社ヤマトクルー「宇宙戦艦ヤマト2199 イスカンダルへの旅路」、株式会社マイネットゲームス「三国INFINITYエクスタシー」等、計10本のタイトルを配信いたしました。さらに、海外事業として、中国オンラインパブリッシャー大手であるMorning Tec社(中華人民共和国 上海市)との「18 キミト ツナガル パズル」の中国での配信に係るライセンスアウト契約による売上を計上いたしました。なお、ブラウザゲーム及び自社運営プラットフォーム「mobcast」の運営につきましては、株式会社マイネットと包括的業務提携契約を締結し、同社と共同運営を開始いたしました。この提携により、今秋から来年にかけて配信を予定している新規タイトルの開発に注力できる体制を整えました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,639,766千円(前年同四半期比7.3%減少)となりました。

一方で、当第2四半期連結累計期間においては、「モバプロ」のシーズン開始及びアップデートに伴う広告宣伝の実施等の結果、営業損失は51,978千円(前年同四半期は営業損失158,352千円)となりました。

さらに、営業外収益として投資事業組合運用益38,332千円等、また、営業外費用として当社及び当社の韓国子会社が保有する外貨建て債権債務を当第2四半期連結会計期間末の為替レートで評価したことによる為替差損69,100千円等を計上した結果、経常損失は86,134千円(前年同四半期は経常損失152,182千円)となりました。また、FIFPro Commercial Enterprise B.V.に対する解決金105,631千円等を計上したことにより税金等調整前四半期純損失は198,362千円(前年同四半期は税金等調整前四半期純損失144,617千円)、また、親会社株主に帰属する四半期純損失は199,507千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失127,408千円)となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間において、VR(仮想現実)ゲーム開発に特化したEnhance Games, Inc.に出資したことにより、同社は当社の持分法適用会社となっております。

注) VR(仮想現実): Virtual Realityの略。コンピューターの生み出した、現実ではない3次元空間。次世代のゲーム技術としても注目を浴びている技術です。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より687,161千円減少し、2,276,202千円となりました。主な内訳は「現金及び預金」が557,007千円、「売掛金」が257,193千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より504,024千円減少し、1,491,458千円となりました。主な内訳は「長期借入金(1年内返済予定を含む)」が181,980千円、「未払金」が272,113千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より183,137千円減少し、784,743千円となりました。主な内訳は「利益剰余金」が199,507千円、「その他有価証券評価差額金」が27,045千円減少し、「為替換算調

整勘定」が43,965千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成28年12月期につきましては、引き続き、自社ゲームの既存コンテンツをより多くのユーザーに楽しんでいただけるような運営及び追加開発を行ってまいります。ネイティブアプリゲームに関しましては、7月19日に配信を開始した「LUMINES パズル&ミュージック」に加え、新規タイトル「LUMINES VS」を配信する予定です。モバイルプラットフォーム「mobcast」においては、既存タイトルの運営効率化及び株式会社マイネットとの共同運営により外部デベロッパー製のソーシャルゲームの配信強化を予定しており、会員数と売上の増加を図ってまいります。海外展開としては、自社開発ネイティブアプリゲームのライセンスアウト、海外パートナー企業とのゲームの共同開発、並びに海外ゲームの国内へのライセンスインを積極的に進めてまいります。また当期においては、前期契約したライセンスアウト案件、共同開発案件の海外及び国内での配信も開始される予定です。

以上を踏まえた当期の売上及び利益予想に関しましては、当社グループが属する市場が、事業環境の変化が激しく、かつ、新規タイトルについての不確実性が高いことから、適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期毎に実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努めるものの、連結業績予想については開示しない方針です。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替を行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,578,656	1,021,648
売掛金	758,024	500,830
その他	139,380	124,436
貸倒引当金	△233	△207
流動資産合計	2,475,827	1,646,708
固定資産		
有形固定資産	52,416	48,010
無形固定資産		
ソフトウェア	146,028	146,908
ソフトウェア仮勘定	92,888	187,913
その他	2,817	3,124
無形固定資産合計	241,733	337,946
投資その他の資産	193,386	243,536
固定資産合計	487,536	629,493
資産合計	2,963,363	2,276,202
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内償還予定の社債	100,200	100,200
1年内返済予定の長期借入金	637,625	452,163
未払金	644,321	372,208
未払法人税等	—	4,438
その他	157,316	166,081
流動負債合計	1,539,463	1,095,091
固定負債		
社債	99,600	49,500
長期借入金	341,763	345,245
繰延税金負債	14,657	1,622
固定負債合計	456,020	396,367
負債合計	1,995,483	1,491,458
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,300	985,400
資本剰余金	932,963	935,063
利益剰余金	△1,001,491	△1,200,998
株主資本合計	914,772	719,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,720	3,675
為替換算調整勘定	△10,038	33,927
その他の包括利益累計額合計	20,682	37,602
新株予約権	32,425	27,675
純資産合計	967,880	784,743
負債純資産合計	2,963,363	2,276,202

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	1,768,835	1,639,766
売上原価	1,079,203	827,729
売上総利益	689,632	812,037
販売費及び一般管理費	847,985	864,016
営業損失(△)	△158,352	△51,978
営業外収益		
受取利息	644	228
撤退事業関連収益	6,879	—
投資事業組合運用益	8,859	38,332
還付加算金	—	1,185
その他	1,360	1,094
営業外収益合計	17,743	40,841
営業外費用		
支払利息	5,581	4,189
為替差損	863	69,100
株式交付費	3,222	92
その他	1,905	1,613
営業外費用合計	11,573	74,996
経常損失(△)	△152,182	△86,134
特別利益		
新株予約権戻入益	7,564	—
特別利益合計	7,564	—
特別損失		
固定資産除却損	—	6,596
解決金	—	105,631
特別損失合計	—	112,227
税金等調整前四半期純損失(△)	△144,617	△198,362
法人税、住民税及び事業税	744	1,145
法人税等調整額	△17,953	—
法人税等合計	△17,208	1,145
四半期純損失(△)	△127,408	△199,507
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△127,408	△199,507



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△127,408	△199,507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,539	△27,045
為替換算調整勘定	2,217	43,965
その他の包括利益合計	30,756	16,920
四半期包括利益	△96,651	△182,587
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△96,651	△182,587

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△144,617	△198,362
減価償却費	154,434	96,530
のれん償却額	19,090	—
固定資産除却損	—	6,596
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△189	△26
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,492	—
受取利息及び受取配当金	△645	△229
支払利息	5,581	4,189
投資事業組合運用損益(△は益)	△8,859	△38,332
新株予約権戻入益	△7,564	—
為替差損益(△は益)	2,928	44,920
売上債権の増減額(△は増加)	△17,633	257,111
前受金の増減額(△は減少)	△9,848	△8,157
前払費用の増減額(△は増加)	35,118	7,938
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	38,979	△377,014
未払又は未収消費税等の増減額	△75,271	46,914
解決金	—	105,631
その他	△3,995	△31,686
小計	△39,982	△83,976
利息及び配当金の受取額	15,170	62,264
利息の支払額	△5,861	△5,512
法人税等の支払額	△24,969	△1,168
法人税等の還付額	—	14,601
違約金等の支払額	△7,241	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△62,883	△13,791
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,522	△3,190
無形固定資産の取得による支出	△224,091	△193,509
関係会社株式の取得による支出	—	△120,455
敷金及び保証金の差入による支出	△1,264	△673
その他	—	9,957
投資活動によるキャッシュ・フロー	△235,879	△307,871
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△100,000	—
長期借入れによる収入	100,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△252,328	△581,980
社債の償還による支出	△50,100	△50,100
株式の発行による収入	316,042	4,107
新株予約権の発行による収入	13,620	—
新株予約権の買取による支出	—	△4,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,234	△232,722
現金及び現金同等物に係る換算差額	△499	△2,622
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△272,027	△557,007
現金及び現金同等物の期首残高	1,956,415	1,578,656
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,684,387	1,021,648

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、モバイルゲーム事業及びソーシャルマーケティング事業がありますが、モバイルゲーム事業以外の事業の重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。